

研究概要

1. 研究名称 または課題名テーマ等

当院の前立腺癌放射線治療におけるエコー装置を用いた尿量計測の運用検討

2. 研究責任者(当院)

所属：放射線科

氏名：吉田 奈留美

共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

機関名：なし

代表名：なし

3. 分担研究者

所属：放射線科

氏名：金子貴之、戸塚大輔

所属：放射線治療科

氏名：川上浩幸

4. 研究対象者

2023年11月8日～2024年2月29日の間に、聖隷佐倉市民病院において

〔前立腺癌の放射線治療〕を受けた方、又は受ける方。

5. 研究の必要性

前立腺癌放射線治療を行うにあたり、リスク臓器（直腸や膀胱など）の副作用を最小限に抑えるためには直腸・膀胱の状態を一定に保つ必要がある。当院では、患者様の状態に合わせた一定の時間に排便・排ガス・蓄尿をして頂いている。毎治療時にはCBCTを撮影し、臓器の位置関係と便・ガスの有無、尿量を確認してから治療を行なっているが、尿量が少ない場合は時間を空けて再度CBCTを撮影し確認しなければならないため余分に被ばくを伴う。本研究では治療の直前に放射線を使わず簡便に尿量を確認できるエコー装置を用いて患者の尿量を測定することで、CBCTの再撮影を減らせるかを検討した。この検討を行うことで患者の被ばく低減と治療時間の短縮が可能となる。よって本研究を行うことが必要である。

6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

本研究はエコー装置を用いて患者の尿量計測を行う。エコー検査は放射線を用いない非侵襲的検査であり、日常臨床における安全性は確保されている。また調査対象の患者様にリスクや不利益、経済的負担は一切発生しない。

治療を行う前にあらかじめエコーで尿量を確認することによって余分なCTの再撮影を減らすことができるため、被ばくの低減・治療にかかる一連の時間の短縮に繋がると考えられる。また、患者に実際の膀胱のエコー画像と尿量の数値を提示することで患者の蓄尿への意識改善も期待できる。

7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：043-486-1151

担当者氏名：放射線科 吉田奈留美

対応時間：8:30-17:00

共同研究において専用窓口がある場合

なし